

一般社団法人日本光学会第7回定期総会議事録

日 時：2022年3月19日(土) 15:00~16:00

場 所：Zoom ミーティングにより実施

出席社員数(議決権行使・委任状出席を含む)：361名

議 事：総会成立の確認

- ・現会員数に対し過半数の定足数を満たしたことが報告され、本総会の成立が確認された。

1. 第1号議案

下記について担当理事および監事から報告が行われ、承認された。

1-1. 第7期事業報告

- ・第6期総会および5回の理事会、6回の総務委員会、および賞選考委員会の開催が報告された。
- ・第7期(2021年1月1日~2021年12月31日)の事業について報告された。

1-2. 第7期決算報告

- ・第7期の決算について報告された。

1-3. 監事報告

- ・事業報告および決算関係資料について監査した結果、適正であるとの報告がなされた。

2. 第2号議案(役員改選)

- ・理事の改選について、以下の留任を含む12名の理事と1名の監事が指名され、承認された。

理事：山口 進, 谷田 純, 川田善正, 伊藤雅英, 桑田宗晴, 山東悠介, 島野 健, 橋本 守, 的場 修, 宮本洋子, 山口雅浩, 山本裕紹

監事：志村 努

3. 報告事項

- ・第8期事業計画が報告された。
- ・第8期予算計画が報告された。

第47回光学シンポジウム

期 日：2022年6月22日(水)~24日(金)

開催形態：ハイブリッド方式(現地とオンライン)

主 催：日本光学会

共 催：応用物理学会フォトニクス分科会

参加登録：光学シンポジウム HP から登録

申込期限：2022年6月10日(金)

プログラム、参加費等の詳細は本号掲載の広告をご参照ください。

問合せ先：実行委員長 野口一能(コニカミノルタ)

E-mail optsymp47-aud@myosj.or.jp

URL http://myosj.or.jp/event2/opt_symp

第4回光・レーザー関西2022

2025年関西万博で本格導入されるVR・AR技術や、ロボット技術のキーとなり注目を集める光とレーザー製品・情報が一堂に会する展示会。

期 日：2022年7月20日(水), 21日(木)

場 所：マイドームおおさか(大阪市中央区本町橋2-5)

主 催：オプトロニクス社

協 賛：日本光学会, レーザー学会ほか

入場料：事前登録制(無料)

来場登録：下記URLからご登録ください。

問合せ先：オプトロニクス社

電話 03-3269-3550 E-mail event@optronics.co.jp

URL <https://www.optronics.co.jp/opto-kansai/>

JOEM「ロボット/マシンビジョンと3D光学計測技術」セミナー

日 時：2022年7月28日(木) 9:50~17:00

開催形態：オンライン(Microsoft Teams 使用)

主 催：日本オプトメカトロニクス協会

協 賛：応用物理学会, 日本光学会, 日本光学工業協会
ほか

参加費：協賛22,440円(テキスト・消費税含む)

定 員：25名

申込期限：2022年7月19日(火)

問合せ先：日本オプトメカトロニクス協会

電話 03-3435-9321 Fax 03-3435-9567

E-mail info@joem.or.jp URL <http://www.joem.or.jp>

日本光学会 *news* の掲載申込先 :

日本光学会 光学広報担当 E-mail koho@myosj.or.jp

メールの件名に「日本光学会 *news* 原稿」と記載してください。

なお、掲載申込は原則として発行日(10日)から2か月前の15日まで、開催日が1~10日の場合は、開催日の3か月前の15日までをお願いします。

掲載にあたっては、「日本光学会 *news*」の掲載基準を日本光学会ホームページでご確認ください。

「レーザー研究」第50巻第4号(2022年4月号)目次

「実用化が進む種々のテラヘルツ光源」特集号

レーザーコンパス

小人ばことパワーレーザー.....藤岡慎介(163)

《特集》

レーザー解説

「実用化が進む種々のテラヘルツ光源」特集号によせて.....角屋 豊(165)
高い周波数精度を持つ連続波 GaP テラヘルツ分光スペクトル測定装置を利用した医薬品検査.....佐々木哲朗, 坂本知昭, 大塚 誠(167)
バックワード・テラヘルツ波パラメトリック発振の研究と非破壊検査応用.....南出泰亜, 縄田耕二, 瀧田佑馬, 野竹孝志(172)
非線形量子カスケードレーザーによるテラヘルツ分光イメージング.....中西篤司, 藤田和上(178)

共鳴トンネルダイオードテラヘルツ発振器とそのレーザー応用.....鈴木左文, ドブロユ アドリアン, 浅田雅洋(183)
光通信技術を活用したテラヘルツ波生成と無線通信への応用.....加藤和利(188)
フォトキャリアテラヘルツコムへの応用.....安井武史(193)
コヒーレントテラヘルツパルスでみる燃料電池で用いられる固体電解質内の高速イオン伝導.....永井正也, 奥山勇治, 可児幸宗(198)

レーザーフラッシュ

研究室紹介

大阪大学レーザー科学研究所 吉村研究室.....(202)

著者紹介

セルフフォーカス.....(206)
レーザーカレンダー.....(213)

「応用物理」第91巻第6号(2022年6月号)予定目次

解説

カルコパイライト型および関連多元太陽電池化合物の材料科学——CIS, CZTS, CTS系化合物の結晶構造と電子構造.....和田隆博

解説

金属錯体化学を基軸とした電荷・スピン制御.....宮坂 等

解説

強相関遷移金属酸化物の電気化学的な電子状態の変調.....大友 明, 相馬拓人

研究紹介

ホイスラー合金の触媒としての性質.....小嶋隆幸
ヘテロナノチューブの創造と機能開拓.....井ノ上泰輝, 項 栄, 千足昇平, 丸山茂夫

プローブ顕微鏡を用いた“Local Probe Chemistry”によるナノ物質の創出.....川井茂樹

基礎講座

MOSFET チャネル移動度評価.....野口宗隆

Inside Out

Mind the gaps.....山本俊介

ホットとひといき

VRセッション開催への挑戦——技術的課題と今後の展望.....中山雄太, 中村健太郎

基礎研究者がベンチャー経営者に.....広津崇亮

一般社団法人日本光学会 創立 70 周年に伴うご寄付のお願い

一般社団法人日本光学会
会長 山口 進

会員の皆様におかれましては、平素より本会の活動に多大なるご理解とご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

本会は、1952年4月1日に応用物理学会内に創立された光学懇話会を前身として発足、応用物理学会分科会日本光学会時代を経て、2014年9月に一般社団法人日本光学会として活動を発展し、2022年に創立70周年を迎えます。光学に関する学術・技術の進歩発展と教育、光学関連産業の振興をめざす研究者、技術者、学生のための学術団体として、これまで会誌「光学」、英文学術誌「Optical Review」の発行、学術講演会、講習会の開催、各種表彰活動、国際交流活動、研究グループ活動などを推進してまいりました。

ここに、創立70周年を迎えるにあたり、本会の礎を築いてくださった先達の努力に感謝しつつこれまでの歴史を振り返るとともに、本会を未来につないでいく意思と行動の共有を目的として、「光学」特集号やOPJ 2022における記念行事の原資とさせていただきます。会員の皆様のご厚情を賜りたいと存じます。

何卒ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

【ご寄付一口額】3,000円（寄付は1口から、何口でもお申し受けいたします。）

【お申込み】下記URLからお申込みをお願いいたします。

<https://mypage.myosj.or.jp/don70th>

（恐縮ですが、クレジット決済のみの対応となります。）

【ご注意】

- ・本会は一般社団法人のため、個人の方からの寄付金は寄付金控除の対象外です。
- ・法人としてご寄付いただく場合は寄付金控除の対象となります。

賛助会員様におかれましては、別途ご連絡しております通り、会費と合わせてのお振込みにてお申し受けいたします。それ以外の法人様は、日本光学会事務局（info@myosj.or.jp）までご連絡をお願いいたします。